

## 平成29年度事業方針

少子高齢化の進展や核家族化などを背景に地域社会では様々な課題が発生しております。当会では、平成26年度に地域福祉活動を、より計画的・効率的に行うため第1次取手市地域福祉活動計画“とりでYOU・Iのまち”を策定いたしました。合わせて策定した第1次発展強化計画も計画の3ヵ年が終了し、進捗状況を検証し第2次の計画を作成いたします。こうした計画の策定と振り返りを重ね住民主体による地域福祉を一層すすめます。

本年は、地域における助け合い・支えあいづくりである「地域包括ケアシステム」の構築を目的とした生活支援体制整備事業における生活支援コーディネーターの役割に、行政や地域包括支援センターとともに積極的に取り組み助け合いのしくみづくりに取り組みます。

また、昨年発足した成年後見サポートセンターは、法人後見の受任をとおり着実にその役割を歩み始めました。本年は、さらに取手市における市民後見のあり方を検討する会議を開催し、その普及に努めます。あわせてくらしサポートセンター、特定相談支援事業所とともに総合的な相談支援体制の強化に努めます。

今般、地域福祉の中核的担い手である社会福祉法人は、効率的・効果的な経営に加え、法人の高い公益性を踏まえたガバナンス（内部統制）の強化や事業運営の透明性を確保するため社会福祉法人制度改革が実施されることとなりました。社協としても改革の趣旨を踏まえ、公益性の高い組織運営に努めます。

### 重点目標

1. 助けあいのしくみづくりと担い手の育成
2. 相談支援体制の強化
3. 総合力強化のための組織運営

# 重点事業への取組み

## 助けあいのしくみづくりと担い手の育成

人口減少や少子化等により、地域のコミュニティ機能が低下しつつある現状において、住民による地域活動を継続的に支援していくためには、拠点となる場所が必要です。そして、それぞれの地域の特性を活かした助けあいのしくみづくりの充実が求められます。また、住民活動を円滑に進めるためには、その活動を支える人材が不可欠です。そのために、必要な事業を実施していきます。

### (1) 助けあいのまちづくりの推進

- ①地域包括支援センターとともに「地域支えあいづくり推進協議会」に参加し地域住民、福祉団体、NPO、企業など分野の垣根をこえた呼びかけを行い、地域の状況把握、ネットワーク構築を目指します。
- ②上記の活動を踏まえ、生活支援コーディネーターとして、助けあいのしくみづくりに努めます。

### (2) 地域活動人材の育成

- ①関係各機関と連携、調整を深め、福祉と教育の垣根をこえた、市民向け講座を開催していきます。
- ②現状行われている学校向けの福祉教育支援プログラムの情報を冊子化し、市内学校等に配布することで、福祉教育の啓発に努めます。

## 相談支援体制の強化

長引く景気の低迷により失業や非正規雇用、低収入等が増加し、子どもの貧困や働ける世代の生活保護受給者の増加等が社会問題化しています。また、高齢化・核家族化により高齢者の財産や権利が侵害されるなどの問題も発生しています。

これらの問題に対応し、地域で自立した生活が営めるように支援するための相談支援体制の整備を進めていきます。

### (1) 「取手市くらしサポートセンター」の強化

- ①生活困窮に陥っている方、ひきこもりやニートで悩んでいる方、複合的な課題を抱えた方に対する相談事業を行います。
- ②生活保護に陥ることなく、自立した生活に戻れるように自立支援へつなげていきます。

### (2) 「取手市成年後見サポートセンター」の設置

- ①制度の普及や相談体制を整備し、高齢者の財産及び権利を守ります。
- ②高齢者日常生活自立支援事業の利用促進に努めます。

③市民後見制度の普及につとめ市民後見人の育成に努めます。

(3) 関連機関、団体との連携

行政機関及び地域の団体・法人等と連携して、相談支援を行えるようその仕組みづくりを行います。

(4) 専門職員の配置

複雑化・複合化する様々な地域の課題に対応するために、社会福祉士等の専門性を有する職員を配置いたします。

総合力強化のための組織運営

社会福祉法人制度改革が実施され、法人の高い公益性を踏まえたガバナンス（内部統制）の強化や事業運営の透明性の確保が求められています。改革の趣旨を踏まえ、公益性の高い組織運営に努めます。

多種多様化する住民の福祉ニーズに対応するために、組織体制の見直しを行います。また、人材の適正な配置と人材育成を行います

(1) 法人組織に体制強化

①法人制度改革の趣旨を踏まえ、法人としての組織の整備に努めます。

②多様化する事業への対応ができる組織体制の整備と地域住民にわかりやすい組織構成を構築します。

③市政協力員、市内法人事業所、ボランティア団体等と連携し、会費や共同募金等の自主財源の増加に努めます。

(2) 職員の適正配置と人材育成

①職員の適正配置と人材確保につとめ、働きやすい環境の整備に努めます。

②体系的な職員研修を導入し、研修を計画的に行うことで、人材の育成を行います。

## (1) 地域福祉・ボランティア発展のために

### ①ボランティア活動の推進と社会参加促進

ボランティア活動のすそ野を広げ、だれもが地域福祉活動に参加できるような仕組みづくりをすすめます。

#### ○ボランティア支援センター運営事業

事業概要	重点項目	予算額
<p>様々な媒体を利用しながら情報を発信しボランティアの支援・充実を図ります。また、ボランティア団体、いきいきふれあいサロン、給食サービス団体への助成をおし、ボランティア活動の育成に寄与していきます。</p>	<p><b>1) 講座の充実</b> 手話奉仕員養成講座を始めとする各種講座の終了後アンケートを実施し、講座の在り方日程などを調査し、これからの講座の充実を目指します。</p> <p><b>2) ボランティアの育成</b> 講座修了生が団体に登録して活動できるよう、団体の紹介等に情報提供を充実させます。また、新たな講座の開催などにより新規のボランティア団体の育成、支援をし、市民のボランティア参加のきっかけを作ります。</p>	<p>6,068 千円 前年度 6,751 千円</p>

#### ○介護支援ボランティア事業

事業概要	重点項目	予算額
<p>市内特別養護老人ホーム、老人福祉施設、グループホーム等において、介護予防の一環として 65 歳以上の方に介護支援ボランティアとして登録していただき、1 時間ボランティアをするごとに 100 ポイントを加算し、上限 5,000 ポイントまでを年度末に 1 ポイント 100 円に換金します。</p>	<p><b>1) ボランティア数の増加</b> 各種ボランティア講座修了者に活動についての情報を提供し、ボランティア登録していただくように促し、活動につなげます。</p> <p>(目標：ボランティア数 250 名)</p>	<p>250 千円 前年度 250 千円</p>

### ②住民参加型事業の推進と住民交流の促進

地域住民、関係団体と連携を図りながら、様々な取り組みを行います。

#### ○いこいの場事業

事業概要	重点項目	予算額
<p>地区公民館等において隔月ごとに演芸・音楽・映画の上映などを実施し、障害者や高齢者などのとじこもり防止や地域住民の世代間交流を図ります。</p>	<p><b>1) 利用者の増加</b> 広報活動の充実、自治会等の協力を得て利用者増につなげます。また、今まで開催していない新たな会場や団体との共催で開</p>	<p>879 千円 前年度 934 千円</p>

	催し、より多くの方に参加を目指します。 (目標：年間利用者 4,000 名)	
--	---	--

○チャリティー事業		
事業概要	重点項目	予算額
音楽やスポーツを通して豊かな心を育て、福祉への参加を促し、社会福祉協議会の活動を理解してもらいきっかけをつくりたい。	<b>1) チャリティーコンサート</b> 幅広い年代層に受け入れられる方の演奏により、参加者の増を目指し、自主財源の確保に努めます。 (目標：参加人数 350 名) <b>2) チャリティーゴルフ大会</b> チラシやポスターでの広報の他、個人、団体に働きかけ参加を募り、参加者の増加につなげます。 (目標：参加人数 80 名)	120 千円 前年度 370 千円

○たすけあいのまちづくり推進助成事業		
事業概要	重点項目	予算額
誰もが地域の事を考え、より良い福祉のまちづくりを実現するために、地域住民による「支えあい」「助けあい」による取り組みに対して活動費の一部を 1 団体 10 万円を限度に助成します。	<b>1) 周知の強化</b> まちづくりや、地域の活動を積極的に行っている団体へ、助成金の趣旨を説明し多くの団体に事業を知ってもらい賛同する地域を募ります。 (目標：2 団体助成) <b>2) 生活支援コーディネーター活動</b> 生活支援体制整備事業における生活支援コーディネーターとして行政や、地域包括支援センターと共に地域ボランティアの育成に努めます。	200 千円 前年度 500 千円

## (2) 高齢者のために

### ①介護保険事業

在宅生活で福祉サービスを必要とする人々に良質なサービスを提供することにより、在宅生活を支援します。

取手市社会福祉協議会訪問介護事業所・居宅介護事業所・居宅介護及び訪問介護事業		
事業概要	重点項目	予算額
・訪問介護事業所	1) 事業の効率化	訪問介護事業所

<p>介護保険法において要支援若しくは要介護の認定された方の居宅を訪問し、身体介護や生活援助のサービスを提供する訪問介護事業の運営。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・居宅介護支援事業所</li> </ul> <p>介護される方が自宅で適切にサービスを利用できるようにケアプランを作成し、訪問介護事業所やデイサービス等のサービス調整を行う居宅介護支援事業の運営。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・居宅介護（障害福祉サービス）</li> </ul> <p>障害者が住みなれた地域の中で生活できるよう、社会生活に必要な知識や習慣を身につけられるよう、本人が行うことが難しい部分について総合的に支援する事業所の運営。</p>	<p>前年度までは社会福祉協議会において2事業所を運営していましたが、本年度より事業の効率化並びに効率的な運営・支援体制の強化を図るため、2事業所を統合します。</p> <p><b>2) 支援員のスキルアップ</b></p> <p>利用者の多様・複雑なニーズに対応するため、支援員の専門性を高める研修等を受講しスキルアップを図り、専門的知識・技術の向上に努めます。</p> <p><b>3) 相談支援事業所との連携</b></p> <p>相談支援事業所と連携を図りながら、障害者の障害の状況及び生活環境に配慮しながら適切なサービスを提供します。</p> <p style="text-align: center;"><b>訪問介護（介護予防）事業</b> （契約者数目標：50件）</p> <p style="text-align: center;"><b>居宅介護支援事業</b> （契約者数目標：80件）</p> <p style="text-align: center;"><b>居宅介護及び訪問介護事業</b> （契約者数目標：32件）</p>	<p style="text-align: right;">52,176 千円 前年度 61,988 千円</p> <p style="text-align: right;">居宅介護事業所 13,581 千円 前年度 12,671 千円</p>
--	--	---

## ②高齢者向け施設の運営

高齢者の集ういこいの場として、健康増進・教養活動等の充実を図り、介護予防の拠点としての機能を充実させます。

### ○取手市老人福祉センターあけぼの運営事業

事業概要	重点項目	予算額
<p>高齢者の健康増進や教養の向上、レクリエーション活動の推進を目的として、運営管理を行います。</p> <p>施設は入浴設備を兼ね備えており、交流の場としての部屋の貸し出しや、趣味教室の募集も行っております。</p>	<p><b>1) 関係機関や広報等への情報提供</b></p> <p>いきいき講座等の活動内容を広報とりでや社協情報誌等に掲載して活動を発信していきます。年間5回以上の掲載を目指します。</p> <p>老人福祉センターあけぼのの施設紹介をパンフレットにて行い、公共施設等に配布します。広く市民に施設の周知を行います。</p> <p><b>2) 講座の実施</b></p> <p>老人福祉センターあけぼの利用者が趣味・教養をひろげられるような新講座やイベントを年間3回以上開催致します。</p> <p><b>3) 趣味教室と世代間交流</b></p>	<p style="text-align: right;">39,953 千円 前年度 42,907 千円</p>

	老人福祉センターあけぼの趣味教室との世代間交流を図るイベントを年3回以上行い、世代を超えて広く市民に施設の周知を図ります。	
--	---	--

### ○取手市老人福祉センターさくら荘施設運営事業

事業概要	重点項目	予算額
<p>娯楽室や大広間、会議室、グランドゴルフ場や入浴施設を備えた取手市老人福祉センターさくら荘は、無料で老人福祉に関する各種の相談に応じ、高齢者の健康増進や教養の向上、レクリエーションなどの機会を総合的に提供することを目的とした施設です。</p>	<p><b>1) 講座の開設</b> シニアからの英語基礎編・ステップアップ編の講座内容を充実させ、新たな講座生の加入を目指します。単発講座の健康増進ウォーキングを取り入れます。 <b>(目標：年平均450人参加)</b></p> <p><b>2) さくらまつりの活性化</b> 地域に親しまれ、毎年開催しているさくらまつりを充実・活性化を図るため、世代間交流ができるイベントを取り入れます。来場者用の駐車場へのPRを行います。 <b>(目標：10パーセント増)</b></p> <p><b>3) さくら荘PR</b> 講座・イベントを広報とりでや社協情報誌・ホームページ・キューピット・ミニコミ誌に掲載し講座参加者やイベント来場者の増加と合わせPRを行います。また、老人福祉センターさくら荘の活動がよりわかりやすく・興味を持っていただけるようにパンフレットの作成にも取り組みます。 <b>(目標：年5回以上掲載)</b></p>	<p>31,536千円 前年度 30,996千円</p>

### ○介護予防拠点事業

事業概要	重点項目	予算額
<p>自宅に閉じこもりがちな高齢者が、地域の中で仲間同士いきいきと歳を重ねていけるよう「憩いの場」として、ボランティアの協力を得ながら運営していきます。</p>	<p><b>1) 利用者の増加</b> 広報活動を強化や、新規の講座を開設し、利用者やボランティアの参加の増加を図ります。 <b>(目標：1日平均35名)</b></p>	<p>7,754千円 前年度 7,705千円</p>

## (3) 障害者のために

### ①障害福祉サービス事業

障害の状況や、置かれている生活環境等に配慮しながら、適切なサービスの提供を行います。

#### ○取手市立障害者福祉センターつつじ園運営事業

事業概要	重点項目	予算額
<p>障害者総合支援法並びに関係する法令等の趣旨及び内容に沿いながら、一般に就職することが困難な障害者(主たる対象者:知的障害者)に対して、社会生活に必要な知識や態度、習慣等の自立した生活リズムを身につけられるような障害福祉サービスの3事業並びに地域生活支援事業を多機能型として総合的に提供します。</p> <p>① 生活介護事業 ② 就労継続支援B型事業 ③ 自立訓練(生活訓練)事業 ④ 日中一時支援事業</p>	<p><b>1) 充実したサービスの提供</b></p> <p>①施設環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新車両の導入</li> <li>・給食サービスの週5日の実施</li> <li>・安静室(パニック等を起こしたときに静かに休憩できる場所)の整備</li> <li>・施設内外の安全点検の実施 施設内点検(月/1回) 施設内外管理点検(年/1回)</li> </ul> <p>②支援内容の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者班編成の細分化の検討</li> <li>・重点的に取り組む創作活動 新聞薪の作成、草木染め等</li> </ul> <p>③職員の資質の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職務基準書を用いたOJT研修</li> <li>・支援技術研修会の実施(年/2回)</li> <li>・施設見学会の実施(年/1回)</li> </ul> <p><b>2) 利用者工賃の向上</b></p> <p>①目標利用者工賃(月額10,000円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規加工食品の販売</li> <li>・除草、清掃業務等の管理委託</li> </ul> <p><b>3) 地域との交流</b></p> <p>①ボランティアビッツの推進 (ボランティア参加者前年比3%増)</p> <p>②ボランティア交流会、地域との交流事業の開催(年/2回)</p>	<p>136,080 千円 前年度 129,751 千円</p>

#### ○障害者生活訓練等〔夜間支援〕事業

事業概要	重点項目	予算額
<p>障害者の夜間における生活の場を確保し、自立に向けた訓練・支援を行い地域生活の</p>	<p><b>1) サービス内容の充実</b></p> <p>一日の1日のスケジュールやお食事の準</p>	<p>2,152 千円 前年度 2,449 千円</p>

<p>促進を図るとともに、日常介護している家族の一時的な負担軽減を図ることを目的としサービスを提供します。</p>	<p>備、あとかたづけ、布団の上げ下ろし、清掃などの方法をわかりやすく掲示し、自立に向けた規則正しい生活への支援を行います。</p> <p><b>2) 利用者数の増加</b> 新規契約者数 5 人増、年間利用者数 240 人を目指します。</p>	
---	---	--

### ○地域活動支援センター運営事業

事業概要	重点項目	予算額
<p>障害者（主たる対象者：精神障害者）に対し創作的活動又は生産活動の機会を提供し、利用者の自立の促進、生活の質の向上、地域社会との交流を図り地域生活支援の促進を図ります。</p>	<p><b>1) サービス内容の充実</b> 活動プログラムについて随時評価、見直しを行い、利用者の意向に沿った新しいプログラムを提案します。 一日の活動スケジュールを明確にし、規則正しい生活へ向けての支援を行います。</p> <p><b>2) 職員の資質の向上</b> 研修会への参加（年間 2 回）近隣施設の見学（年間 1 回）を通じて職員のスキルアップを図ります。</p>	<p>5,476 千円 前年度 5,318 千円</p>

### ○グループホーム運営事業

事業概要	重点項目	予算額
<p>住み慣れた地域の中で障害者が共同生活を送ることで、社会生活に必要な知識や習慣を身につけるとともに介護者の負担軽減を図ります。</p>	<p><b>1) 充実したサービスの提供</b> 1 日のスケジュールやお食事の準備、あとかたづけ、布団の上げ下ろし、清掃などの方法をわかりやすく掲示し、自立に向けた規則正しい生活への支援を行います。</p> <p><b>2) 職員の資質の向上</b> 研修会への参加（年間 2 回）近隣施設の見学（年間 1 回）を通じて職員のスキルアップを図ります。</p>	<p>12,036 千円 前年度 10,685 千円</p>

### ○取手市立障害者福祉センターふじしろ運営事業

事業概要	重点項目	予算額
<p>障害者自立支援法に基づく障害者福祉サービス事業所として、一般の雇用関係に入ることが困難な障害者（主たる対象者：知</p>	<p><b>1) 充実したサービスの提供</b> ①施設内設備の管理及び修繕 ・施設内安全点検（月 1 回）</p>	<p>55,956 千円 前年度 49,104 千円</p>

<p>的障害者) に対し、作業・日常生活・健康・余暇活動等の支援及び援助を行うことによって、利用者の社会的な自立の助長を図ることを目的とする「就労継続支援B型事業」及び「自立訓練事業」のサービスを提供しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設外安全点検（年1回）</li> <li>②創作活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・季節を感じる創作活動、新しい日中活動の実施</li> </ul> </li> <li>③職員の資質向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援技術研修会の実施（年2回）</li> <li>・施設見学（年1回）</li> </ul> </li> <li><b>2) 利用者工賃の向上</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>①目標平均工賃 月9,000円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・カフェウエルカムの充実</li> <li>・着火剤製造販売</li> </ul> </li> <li>②新規受託作業への取組み <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の適正に配慮した新しい作業の開拓</li> </ul> </li> <li>③新しい自主生産品の販売 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ルバームジャムの開発</li> </ul> </li> <li>④受託作業の精査 <ul style="list-style-type: none"> <li>・工賃単価等を踏まえた見直し（年1回）</li> </ul> </li> </ul> </li> <li><b>3) 地域との交流</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>①ボランティアビッツの推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・カフェウエルカムのボランティアを通じた積極的な受入</li> </ul> </li> </ul> <p style="text-align: right; margin-right: 20px;"><b>(目標：年330人)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>②カフェウエルカムを中心とした地域交流 <ul style="list-style-type: none"> <li>・藤代なごみの郷認知症カフェの開催（年4回）</li> <li>・ワークショップの企画開催（年1回）</li> <li>・カフェウエルカムギャラリースペースの一般開放</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	
--	--	--

**○取手市立障害者福祉センター、地域活動支援センターあけぼの運営事業**

事業概要	重点項目	予算額
<p>主として身体障害の方への自立支援促進、生活の質の向上を図るための日常生活援助（入浴、排泄等の介助）、創作的活動、機能回復訓練及び社会適応活動等のサービスを継続的に提供し、障害者総合支援法に基づき以下の事業について一体的に運営しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 生活介護事業</li> <li>2. 自立訓練（機能訓練）事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>1) 支援員の介護技術向上</b> <p>利用者個人の障害特性に応じた多様な介護支援サービスを提供できるよう、年1回以上の介護技術講習会への参加を行い、新たな介護技術を習得し日常支援に結びます。</p> </li> <li><b>2) 施設備品設備の整備</b> <p>1人でも手軽に行えるリハビリ器具を導入し、各自のペースに応じて使用できる環境</p> </li> </ul>	<p>福祉センター 37,380千円 前年度40,471千円</p> <p>支援センター 9,177千円 前年度9,239千円</p>

<p>3. 地域活動支援センター</p>	<p>を整えられるよう、利用者からリハビリ器具設置の要望を随時聞き取りし、器具の購入を毎年度行います。また、備品設備の不具合箇所・耐用年数を調査し、修繕対応並びに設備更新を毎年度行い、利用者に安全で快適なサービス提供を実施します。</p> <p><b>3) 自然災害発生時の適切な利用者支援</b></p> <p>大地震等の自然災害発生時に、職員が利用者へ適切な避難誘導支援を行えるよう、災害被災地へ被災時の障害者支援状況を調査します。また、大地震発生を想定した年1回以上の避難訓練を実施します。</p>	
----------------------	--	--

## ②相談支援事業

障害者・障害児の保護者等から相談に応じ、必要な情報の提供、助言を行います。また、サービス利用計画等の作成も行います。

○特定相談支援事業		
事業概要	重点項目	予算額
<p>障害福祉サービスの利用を希望される方に対し、個々のニーズに合った総合的な援助や、解決すべき課題を踏まえ、最適なサービスのプランニングをおこないます。</p> <p>また、障害者やその家族の生活の支援に関する相談に応じるとともに、関係機関との連携を密に取り、住み慣れた地域において生活できる支援体制をつくります。</p> <p>また、平成 29 年度から、児童の計画にも取り組み、より多くの方の支援をできるように取り組んでいきます。</p>	<p><b>1) 事業の効率化・相談支援専門員の専門性、資質の向上</b></p> <p>相談支援部会、研修等に参加しながら、相談支援専門員の専門性の向上を図るとともに、他の相談支援事業所や、障害福祉サービス事業所の見学を通して連携を図り、横のつながりをつくります。</p> <p><b>2) 新規利用者の増加</b></p> <p>行政等と連携をとりながら、年間 20 名程度の増加を目指します。また平成 29 年度から本格的に開始する児童計画については、ご家族との信頼関係が重要になるので、適切に支援ができるよう、行政、発達センター、他の児童計画相談事業所と連携を図りながら計画を立てます。</p>	<p>5,610 千円</p> <p>前年度 4,358 千円</p>

## (4) こども・児童のために

### ①児童の発達支援

発達に心配のあるお子様に集団及び個別指導を行うと共に、保護者の相談にも対応していきます。

#### ○取手市立こども発達センター運営事業

事業概要	重点項目	予算額
<p>発達面で心配のあるお子さんの支援を目的とした児童発達支援及び放課後等サービスの事業所です。取手市在住の未就学のお子さんとその保護者を対象に、通園指導、専門指導及び相談業務を行っています。土曜日も専門指導を実施し、利用児がより通いやすい体制を整えています。放課後等デイサービスは、前年度までの発達センター利用児の中で継続を希望された小学1、2年生を対象とし、個別指導及び小集団指導を実施しています。</p>	<p><b>1) 通園部門</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親子通園（週2回）</li> <li>・単独通園（原則週5回）</li> </ul> <p><b>2) 専門指導部門</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別指導（予約制 個別1回 45分）</li> <li>・集団指導（予約制 集団1回 60分）</li> </ul> <p><b>3) 1日の受け入れ目標40人</b></p>	<p>103,649 千円 前年度 92,562 千円</p>

## (5) 住民参加型福祉サービス

ボランティアの協力を得ながら、在宅生活で福祉サービスを必要とする人々に良質なサービスを提供することにより、在宅での生活を支援します。

### ○在宅福祉サービス事業

事業概要	重点項目	予算額
<p>おおむね60歳以上の高齢者や障害者又は産前産後の方及びその家族(利用会員)の日常生活の負担を少しでも軽くするため、福祉の理解と情熱を持った地域の人々(協力会員)の協力を得て家事援助や院内介助等を行う有償の福祉サービスです。</p>	<p><b>1) 協力会員の増員</b> チラシ等の広報活動を行い、協力会員の増加に繋がります。 <b>(目標: 3名)</b></p> <p><b>2) 研修会の実施</b> 協力会員の専門的知識・技術向上の為に、研修会を実施します。(年1回)</p>	<p>2,707千円 前年度 3,825千円</p>

### ○移送サービス運営事業

事業概要	重点項目	予算額
<p>身体的な理由などの為、歩行困難の者や移動困難の者に対し、運転ボランティアの協力を得ながら移動の支援を行い、在宅での福祉向上を図ります。</p>	<p><b>1) 運転ボランティアの増員</b> 講習会の開催、チラシ等の広報活動を行い、運転ボランティアの増加に繋がります。 <b>(目標: 3名)</b></p> <p><b>2) 研修会の実施</b> 運転ボランティアの専門的知識・技術向上の為に研修会を実施します。</p>	<p>3,776千円 前年度 3,764千円</p>

### ○ファミリーサポートセンター運営事業

事業概要	重点項目	予算額
<p>子育て中の家庭を支える事業として子育ての手助けをしてほしい人(利用会員)と子育ての支援をしたい人(協力会員)がお互いに助け合う会員組織です。活動は協力会員の自宅で行います。</p>	<p><b>1) 協力会員の増員</b> チラシ等の広報活動を行い、協力会員の増加に繋がります。 <b>(目標: 3名)</b></p> <p><b>2) 研修会の実施</b> 協力会員の専門的知識・技術向上の為に、研修会を実施します。(年3回)</p>	<p>4,861千円 前年度 4,675千円</p>

## (6) 生活支援のために

生活に困窮している方や、判断能力が低下している方々に対して各種相談、活動等を通じて支援してまいります。

### 成年後見サポートセンター運営事業・日常生活自立支援事業

事業概要	重点項目	予算額
<p>高齢者や知的障害者、精神障害者等の判断能力の低下や生活状況の変化に応じて、日常生活自立支援事業や成年後見制度を活用し、その人らしい安心した生活が送れるよう権利を擁護するために支援しています。</p> <p>平成 29 年 4 月よりセンターを開設し、以下の①～④の事業内容に基づいて運営しています。</p> <p>① 成年後見制度利用相談事業 ② 成年後見制度啓発事業 ③ 法人後見受任事業 ④ 日常生活自立支援事業</p>	<p><b>1) 相談員及び生活支援員の質の向上</b> 多様化する相談に対し、相談者のニーズに十分に答えられるよう積極的な研修の参加や生活支援員対象に研修を開催し、職員の専門性を高め、より良い支援体制を作ります。</p> <p><b>2) 関係機関との連携</b> 行政、地域包括支援センター、顧問弁護士等、関係機関と情報共有や意見交換を行い、連携・協力しながら、適切に制度利用を支援します。</p> <p><b>3) 成年後見制度及びセンター事業の普及啓発</b> 関係機関へパンフレットの配布や権利擁護に関する制度やしくみの講演会を開催します。</p> <p><b>4) 市民後見の普及啓発</b> 市民後見のあり方に関する検討会を開催し、制度の普及や市民後見人の育成に努めます。</p>	<p>成年後見 7,481 千円 前年度 6,448 千円</p> <p>日常生活 971 千円 前年度 905 千円</p>

### ○生活福祉資金貸付・小口貸付事業

事業概要	重点項目	予算額
<p>生活福祉資金貸付事業は茨城県社会福祉協議会からの委託事業であり、低所得、障害者及び高齢者世帯の方々に、必要な資金貸付をするとともに、相談・援助を行うことにより、世帯の経済的自立及び生活意欲の助長を促進し、安定した生活を送れることを目的としています。</p> <p>小口貸付資金事業は、取手市社会福祉協議</p>	<p><b>1) 相談体制の強化</b> 引き続き茨城県社会福祉協議会やくらしサポートセンター、民生委員等関係機関と連携を図りながら、借入世帯の自立更正に向けた相談、援助を実施します。</p> <p><b>2) 滞納者への対応</b> 長期滞納者に対しても茨城県社会福祉協議会等と連携を図りながら、返済について</p>	<p>201 千円 前年度 230 千円</p>

<p>会独自の制度として、生活困窮者等に対し善意銀行でお預かりした資金をもとに、小口貸付金を一時的に貸し付けることにより生活の安定を図ることを目的としています。</p>	<p>対応していきます。</p>	
--	------------------	--

○心配ごと相談所運営事業		
事業概要	重点項目	予算額
<p>日常生活における心配ごとの相談を受け、精神的な不安の軽減を図ります。</p> <p>【取手地区】 毎週水曜日午後1時から4時 福祉会館2階相談室において実施</p> <p>【藤代地区】 第1・3木曜日午後1時から4時 藤代庁舎3階会議室において実施</p>	<p><b>1) 相談員の質の向上</b> 相談内容の多様化に対し、的確なアドバイスを行える様に、相談員の研修会を年一回実施し、相談員の質の向上を図ります。</p>	<p>531 千円 前年度 529 千円</p>

○取手市くらしサポートセンター運営事業・ぬくもり学習支援事業		
事業概要	重点項目	予算額
<p>生活に困っている方が、自立した生活に戻れるように、専門性を有する支援員が相談に応じて、その人の抱える様々な問題に対応した支援へとつなげて参ります。</p> <p>また、ぬくもり学習支援事業として、困窮世帯の子どもに対する居場所づくりを実施し、学習の機会を提供します。</p>	<p><b>1) 普及啓発</b> 事業内容を周知するために普及啓発に努めます。</p> <p><b>2) 支援員の質の向上</b> 研修等に積極的に参加し、支援員の質の向上に努めます。</p> <p><b>3) 他機関との連携</b> 多様な困窮相談に対応できるように、取手市や労働局等の他機関と密に連携を図ります。</p> <p><b>4) 障害者の就労相談</b> 障害者の就労相談にも対応するため、他機関と連携を図ります。</p> <p><b>5) 学習環境の向上</b> 学習支援アドバイザーとの会議の機会を設けながら、困窮世帯の子どもによりよい居場所づくりを行っています。</p>	<p>くらしサポート 21,420 千円 前年度 20,269 千円</p> <p>ぬくもり学習 1,439 千円 前年度 1,514 千円</p>

## (7) 法人運営事業

### ①財源の確保

円滑な社協活動を実践するために、財源基盤を充実・強化して参ります。

#### ○社会福祉協議会会員増強運動

事業概要	重点項目	目標額
様々な地域福祉に取り組むために福祉委員、班長の方々をはじめとする市民の皆様の協力をいただき、貴重な自主財源である会員会費の増強に努めます。	<b>1) PRの強化</b> 社協情報誌等で社会福祉協議会のPRを行い、事業内容の理解を深め、加入促進を図ります。  <b>2) 特別会員の増強</b> 市内の企業等に、メール便や訪問で社会福祉協議会の事業への賛同を得て、特別会員の増強を図ります。  <b>(目標額：7,600千円)</b>	7,600千円 前年度 7,600千円

#### ○赤い羽根共同募金運動

事業概要	重点項目	目標額
取手市内における地域福祉活動、茨城県内の福祉施設修繕等や災害支援のための貴重な財源で、全国規模で実施されている募金活動（赤い羽根・歳末助け合い募金）です。	共同募金運動（赤い羽根共同募金・歳末たすけあい運動）。茨城県共同募金会が示す方向に従い、市内の地域福祉活動の財源となる赤い羽根共同募金運動の強化に努めます。  <b>(目標額 赤い羽根共同運動 8,200千円)</b>  <b>(目標額 歳末たすけあい運動 7,200千円)</b>	赤い羽根 8,200千円 前年度 8,000千円  歳末たすけあい 7,200千円 前年度 7,300千円

#### ○善意銀行運営事業

事業概要	重点項目	予算額
市民の皆様からの温かい善意の気持ちの金銭や物品をお預かりし、市内の福祉団体や施設、ボランティアグループ等にお送りすると共に、社会福祉協議会の実施する事業やボランティア・市民活動に有効活用して参ります。	<b>1) 善意銀行の広報・啓発活動</b> ポスターの掲示や、イベントへの参加を積極的に行い、寄付に対する認知度を向上させ、寄付金の増加を目指します。	6,502千円 前年度 8,921千円

### ②啓発活動の推進と福祉組織活動

地域福祉情報の提供をはじめ、各種イベント等の開催や、福祉団体への助成事業により、地域福祉活動への理解を進めます。

○事業名 キューピット発行事業		
事業概要	重点項目	予算額
ボランティア団体や地域での活動などボランティアに必要な情報を毎月1日に発行。発行部数2,450部。	様々な活動紹介を行いボランティア活動に興味を持っていただくような記事を掲載します。助成金情報の充実や、より多くの団体の活動を紹介し、地域の活動情報提供、新規ボランティア参加のきっかけを作ります。	116千円

○啓発事業（情報誌・ホームページ・助けあい物語賞）		
事業概要	重点項目	予算額
情報誌やホームページで社協の実施事業や福祉に関する情報を発信し、地域福祉や、社会福祉協議会に関する興味関心を啓発します。	<p><b>1) 社協の認知度向上</b>            情報誌・ホームページで各事業所のイベントや事業内容の告知・発信、市民の活動等も伝えながら社協を知っていただき、各事業所のイベント・講座などへの参加や、善意銀行・共同募金運動などへの理解・協力を求めています。</p> <p><b>2) 広報誌の内容の充実</b>            広報委員会を中心に、広報誌の内容の充実を図ります。</p> <p><b>3) 広告業者の募集強化</b>            ホームページの広告、情報誌の広告について募集を強化します。            ホームページ 1枠1ヵ月10,000円  <b>（目標：年間掲載 110,000円）</b>            情報誌 1枠5,000円×12枠×4回</p> <p><b>4) 情報誌設置店の増加</b>            より多くの方々に見てもらうため、情報誌を設置していただける店舗等を増加させます。  <b>（目標：10ヵ所増）</b></p> <p><b>5) 助けあい物語賞の募集</b>            助け合いの大切さを市民にアピールすることを目的として開催します。</p> <p><b>6) 福祉大会の開催</b>            永年に渡るボランティア活動や地域福祉の増進に寄与された個人・団体を表彰しま</p>	社協情報誌 1,795千円 前年度1,639千円 ホームページ 301千円 前年度301千円 助けあい物語 50千円 前年度50千円 福祉大会 41千円 前年度78千円

	す。	
--	----	--

### ○赤い羽根共同募金配分事業（一般募金配分事業）

事業概要	重点項目	予算額
前年度に実施された赤い羽根共同募金のうち、茨城県共同募金会から配分された B 配分金を、市内の地域福祉育成のために活用していきます。	福祉団体・ボランティア団体への助成をとおして、一層の地域福祉の増進を図ります。	4,123 千円 前年度 4,837 千円

### ○歳末たすけあい募金配分事業

事業概要	重点項目	予算額
歳末たすけあい運動で集められた募金と、前年度歳末たすけあい募金の剰余金をもって、市内の支援を必要とする世帯への支援や、一人暮らし高齢者の安否確認事業とボランティア団体等助成事業を行います。	民生委員、ボランティア、住民等と協力し、地域の実情や対象世帯のニーズに即した歳末時期の地域福祉の諸活動を強化するとともに、多様な生活支援活動を充実強化し、それらを通じて住民の地域福祉推進への理解を図ります。	7,999 千円 前年度 7,300 千円

### ③法人運営事業

地域福祉活動を推進するため、社会福祉協議会の組織基盤を充実強化します。

### ○法人運営事業

事業概要	重点項目	予算額
法令を遵守し、地域の責任のある法人として地域社会に貢献するために、法人組織の基盤整備をすすめるとともに、職員研修を充実させ、職員の人材育成を行います。	<p><b>1) 法人管理</b> 社会福祉法の改正が行われる等、目まぐるしく変化する福祉行政に対応しながら、関係法令を遵守し、それに合せて定款・諸規程の制定・改正を行います。</p> <p><b>2) 体系的職員研修の実施</b> 「専門家集団」を目指し、職員研修計画を充実させ、人材育成に努めます。</p> <p><b>3) 福祉交流センターの運営管理</b> 軽費の削減に努め、適正な管理を行います。また、センターの環境を整備し、利用しやすい施設を目指します。</p> <p><b>4) 地域福祉活動計画・発展強化計画</b> 市、その他の関係団体と連携を取りながら進行管理していきます。また、発展強化計画は平成 29 年度より第二次へと切り替わるため、周知を強化します。</p>	103,271 千円 前年度 93,488 千円

○藤代支所運営事業

事業概要	重点項目	予算額
<p>情報発信(広報・PR活動)、赤い羽根共同募金運動、フリーマーケットの開催、藤代地区の各支援業務を通じて地域福祉の構築に寄与します。</p>	<p><b>1) 認知度向上</b>                      情報発信の強化(情報誌等)やイベントでのPRを行います                      ・フリーマーケット出店者・来場者の増                      (目標出店数:80店)                      5月:善意銀行寄付金募集                      10月:赤い羽根共同募金活動                      ・ネットワークフェアで募金活動                      ・赤い羽根共同募金街頭募金1カ所増</p> <p><b>2) ボランティアの支援</b>                      ボランティアや在宅福祉サービスの協力会員の新規開拓・育成、既存団体の活動支援                      (ボランティアの増 10名)</p>	<p>21,772 千円                      前年度 25,383 千円</p>